



耳鼻咽喉科新体制スタート

耳鼻咽喉科 部長 瀬尾 徹

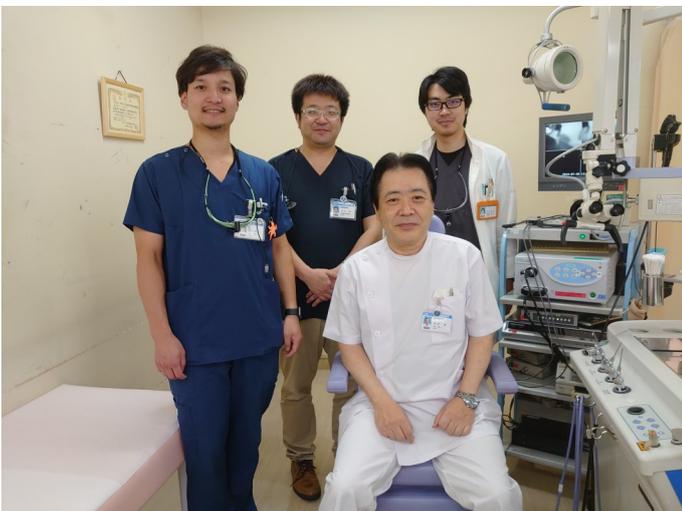
2019年4月1日、瀬尾徹新部長の就任に伴い、耳鼻咽喉科の新しい診療体制がスタートしました。新生耳鼻咽喉科の目指す方向についてご紹介してゆきたいと思っております。まず重要なことは、これまで通り地域の皆様に頼られる耳鼻咽喉科として役割を果たすよう努めてまいりたいと思っています。次に重要なことは、大学病院分院としての高度な最先端の医療の提供を目指して行きたいと思っています。とくに、西部病院耳鼻咽喉科の伝統のめまいの診療については、これまでどおり地域一番の医療を目指します。そしてこれで当院では行われてこなかった中耳手術を新たに実施することとし、聴力の改善をめざす医療を提供します。めまい診療、中耳手術を柱とする高度な医療を提供してゆきたいと思っています。

当院には、これまでめまいの診断のための検査機器が充実しておりましたが、さらに4月より前庭誘発筋電図やvHITといった新しい検査も取り入れております。これらによって、原因の明らかでなかっためまいについて、その原因を明らかとすることが可能となってきています。また、めまいを訴える患者さまの30%から60%は、良性発作性頭位めまい症です。この病気は、浮遊耳石置換療法により、早期に治ることが明らかとなっています。積極的にこの治療を取り入れ早期の改善を目指します。

さらに、難治性のメニエール病に対し手術による治療を実施するなど、難治性疾患についても治す医療を目指しています。

難聴の治療はなかなか難しいのが実情です。しかし鼓膜穿孔や慢性中耳炎による難聴は、手術によって改善することも少なくありません。最近の研究では、難聴が認知症のリスクとなることが明らかとなっています。そこで、当院では積極的にこれらの手術療法を実施していき、患者さまの生活の質の向上に貢献してゆきたいと思っています。当科では、患者さまの負担を軽減するよう新しい手術法、手術材料を取り入れ、入院期間は短ければ3日で、長くと1週間程度となるよう努めています。

これら高度の医療を提供するには、当然医師のマンパワーが必要となります。しかし、それには限界があります。簡便な処置のみを実施する患者さま、あるいは長年にわたって症状の安定している患者さまについては、今後は地域の開業医の先生に診療をお願いすることになると思います。その点、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、なにとぞご理解のほどお願いいたします。引き続き、西部病院耳鼻咽喉科が皆様の信頼を維持することができるよう努力して参りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



スタッフ集合写真



手術風景

TOPICS

医事課からのお知らせ

待望の電子カルテシステム本稼働

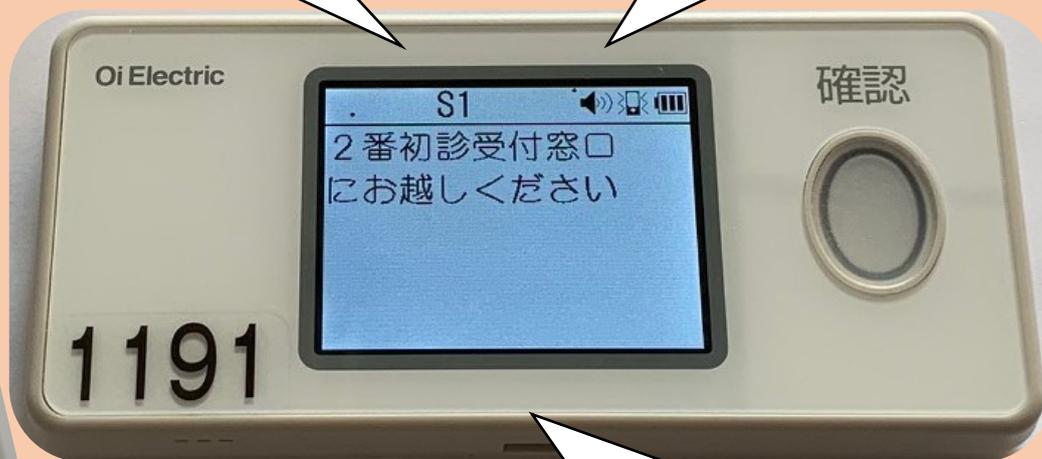
当院では改元直後の、令和元年5月1日(水)12:00～電子カルテシステム導入を含む、新医療情報システムの運用を開始致しました。ゴールデンウィークの長期連休を返上して教職員が一丸となって作業に取り掛かり、現在、大きなトラブルもなく順調に稼働しています。短期間での導入にも関わらず、みなさんのご協力により、順調な滑りだしで稼働を迎えましたが、課題も上がっております。情報共有、業務の効率化、体制の変更、データの2次利用等を進め、医療の質の向上を図ると共に、この新システムを活用し、地域医療機関や患者様にもスムーズに医療情報を提供できる環境を整え、さらなる医療安全、地域貢献に邁進できればと考えています。

外来呼び出しカードリニューアル！

電子カルテ導入と同時期に、外来呼び出しカードをリニューアルしました。

文字数48文字に！
(旧型は8文字の表示)

液晶の背景色が白くなり
見やすくなりました！



漢字、ひらがな、カタカナ、数字表示に！
(旧型はカタカナと数字のみ)



ご存知
ですか？

災害時に備えて『備蓄』をしていますか？

〈栄養部 長島淑恵〉

日頃はついつい先延ばしにいませんか。非常時の食品の備蓄を非日常として考えず、普段の買い物の範囲で取り入れてみましょう。

【備蓄のポイント】

「ローリングストック」で食品の備蓄の用意

「ローリングストック」とは、日常使用する食品を少し多めに買い置きし、賞味期限を考えて古いものから使用し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭に備蓄されている状態のことです。賞味期限が切れる前に消費し、消費した分は買い足しましょう。



★水・食料の備蓄は1人3日分～1週間分を目安に準備

水：調理用・飲水用で、一人1日3Lが目安です。（3日分だと9L分）

食料：災害直後は炭水化物に偏りがちです。ご飯やめん類、パン以外にも、栄養バランスを考え、缶詰やレトルト食品、フリーズドライ、日持ちする野菜（玉ねぎ、ジャガイモ、ニンジン等）、乾物（海藻、切り干し大根等）、野菜の缶詰、野菜ジュース等もストックしておくことをお勧めします。

《食事療法をされている方》

塩分、カリウム等を調整したレトルト食品を用意しておくといよいでしょう。

また、嚙む力・飲み込む力が弱い場合は、それに合わせたレトルト食品やとろみ剤を多めに用意しておきましょう。

★赤ちゃんがいる家庭は、液体ミルク、使い捨て哺乳瓶の用意

災害時はライフラインが止まり、粉ミルクが作れない可能性もあります。

先の熊本の震災を受け、2019年3月、日本でも液体ミルクの販売が開始されました。混ぜたり、温めたりする必要がなく、そのまま哺乳瓶に移して飲むことができます。哺乳瓶の殺菌も難しいため、使い捨ての哺乳瓶も便利です。ほかにもおむつ、おしりふき等も一緒に用意しておきましょう。

★そのほかにあれば便利なもの

保管場所を家族みんながわかるようにしておきましょう。

- ・カセットコンロ、毛布や上着、ビニール袋、上着、スリッパ、タオル、軍手
- ・ティッシュペーパー、女性の方は生理用品
- ・治療中の方は、内服薬やお薬手帳。普段の血圧や血糖値等を把握しておきましょう。

市民公開講座

9/27(金)

「減塩の必要性」
～高血圧治療ガイドライン2019年より～
栄養部 課長補佐 吉田 美紀

10/25(金)

「健康寿命を延ばす」
リハビリテーション部 主任 近藤 千雅

11/22(金)

「めまいは治る」
耳鼻咽喉科 部長 瀬尾 徹

1/24(金)

「感染症で入院しないために」
～知って得するプチ知識～
医療安全管理室

2/28(金)

「えんぎでもないことをもっと身近に」
～人生会議でこれからを考える～
看護部

3/27(金)

「災害時に役立つための知識を身につける」
～いつ起こるか分からない災害に備える～
救命救急センター

時間 14:00～15:00

場所 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 3階講堂

定員 各回 先着40名(参加無料・予約不要)

*当日は直接会場にお越しください。

【お問い合わせ】  聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 病院運営企画室
TEL:045-366-1111(代) 平日9:00-17:00

後援: 横浜市医療局

